

新学術領域研究「精密制御反応場」 第1回公開シンポジウムプログラム

平成28年1月30日(土)

東京工業大学蔵前会館 くらまえホール

1月30日(土曜日)

- 10:30~10:40 領域代表挨拶
- 10:40~11:00 二酸化炭素有効利用に向けた触媒開発
野崎 京子 (東大院工)
- 11:00~11:20 高難度選択酸化反応のための高機能分子固体触媒の開発
水野 哲孝 (東大院工)
- 11:20~11:40 PCP型ピンサー配位子を持つモリブデン窒素錯体を用いた
触媒的窒素固定法の開発
西林 仁昭 (東大院工)
- 11:40~12:00 不活性結合活性化による高難度精密有機合成反応の創出
中尾 佳亮 (京大院工)
- 12:00~13:00 昼食(総括班会議)
- 13:00~13:20 多座配位子の創出に基づく金属錯体反応場の構築と新反応開発
岩澤 伸治 (東工大理工)
- 13:20~13:40 固相担持法による高活性遷移金属錯体触媒の創製
澤村 正也 (北大院理)
- 13:40~14:00 精密多点制御を実現する触媒反応活性点の設計と有用物質変換
松永 茂樹 (北大院薬)
- 14:00~14:20 容積可変反応場の設計と構築
生越 専介 (阪大院工)
- 14:20~14:40 ヘムタンパク質のヘム結合キャビティを反応場とする
人工生体触媒の開発
林 高史 (阪大院工)
- 14:40~15:00 生体触媒反応場の精密制御に資する理論計算手法の開発と応用
長谷川 淳也 (北大触媒研)
- 15:00~15:20 コーヒーブレイク
- 15:20~15:40 生体触媒の基質誤認識を利用する不活性炭化水素への
酸素原子挿入反応触媒系の開発
荘司 長三 (名大院理)

- 15 : 40～16 : 00 生体高分子に遷移金属錯体を導入したハイブリッド触媒の創製
山口 浩靖 (阪大院理)
- 16 : 00～16 : 20 金属間相乗作用を活かした多核金属クラスター触媒
真島 和志 (阪大院基礎工)
- 16 : 20～16 : 40 キラルビナフチルジスルホン酸(BINSA)を用いる
超分子触媒の設計と反応開発
石原 一彰 (名大院工)
- 16 : 40～17 : 00 らせん高分子を用いた新キラル反応場の創出
杉野目 道紀 (京大院工)
- 17 : 00～17 : 20 講評
- 17 : 30～19 : 30 懇親会 (蔵前会館 ロイヤルブルーホール)